

活動名：第25回ウインターカップフットサル in 川俣U12

日 程：令和8年1月10日（土）・11日（日）

会 場：川俣町体育館

参 加：L100 8名

帯 同：熊坂コーチ

サポート：貝和コーチ

結 果：VS吉井田SSS 5:2

VS城西SSS 4:1

VSアステルFC 0:0

※各グループ2位の中で1位となり決勝トーナメント進出

決勝トーナメント

VS川俣SSS 0:1

VS MOSアミーゴ 1:4

最終結果 7位／20チーム

報告（熊坂）

### テーマ

1対1の攻守において責任を持って対応すること。

球際での強度を高めること。

試合の主導権を握れるように積極的なプレーでチャレンジすること。

シュートに対するセカンドボールの意識を持って、こぼれ球を狙いにいくこと。

チーム一丸となって勝利を目指して最後まで諦めずに全力でやりきること

### 良かったところ

○年明けすぐの大会で心配していましたが初戦から動きが良かったです。年末年始も準備してくれていたんだろうなと思いました。

○大会を通して粘り強い守備で安定していました。

前線の選手のプレースバック、後ろの選手のカバーリング、数的不利な状況での落ち着いた対応、GKの攻守などもあり、今まで以上に良くなっていました。

○一人一人のゴールへの意識が高く、積極的でした。

前線の選手は勿論、後ろの選手も積極的に攻撃に参加して、攻撃の厚みも出せっていました。ボールを持った選手が孤立する場面も以前より少なくなりました。

○ハーフタイムに伝えたことを理解し、実戦出来ていました。

理解力が高まっていると感じましたし、速い動きの中で判断して対応していました。今まで試合中の修正が中々出来ませんでしたが、今回は修正出来ました

ので、成長したなと感じました。

○「勝ちたい」という強い想いが伝わってきました。

失点しても下を向く選手はいなかったですし、5試合全てにおいて最後まで全力で戦い抜いてくれました。2日目は2敗でしたが、選手達のプレーから強い想いが伝わってきて、見ている人の心を動かすプレーだったと思います。

精神的に少し遅くなったように思います。

### ○5・4年生の緊張と涙

6年生の素晴らしいプレーとレベルの高い試合に5・4年生が出場する時に緊張していました。大会でしか味わえないこの緊張感を感じたことは大きな財産になったのではないでしょうか。また、その緊張の中でも上手に出来たことは大きな自信に繋がったのではないでしょうか。

最終戦の前半は5・4年生全員をスタメンで起用し、0-3となってハーフタイムに戻ってきました。号泣する選手、放心状態な選手・・・初めてこのような選手達の姿を見ました。大きな自信を打ち砕かれたようでした。

可哀想ではありましたが、この経験があったからこそ、この選手達ならここから一回りも二回りも大きく成長してくれるのではないかと私は思いました。

育成で考えると大きなプラスになるという点では貴重で素晴らしい経験だったと思います。

○チーム全員が仲良く、そして一つの目標に向かって全力を尽くしてくれたことがとても良かったです。だからこそ決勝トーナメントでは勝たせてあげたかったのですが、私の力不足で申し訳ありませんでした。

2026年最初の大会としては素晴らしい内容だったと思います。

今後の大会に弾みがついたと思いますので、次の大会も期待しています。

これからも頑張っていきましょう！

### 課題

○体力

初日はプレーも運動量も本当に凄かったです。2日目も同じプレーを期待していましたが、運動量が少し足りなかったですし、プレーのキレも少し落ちていました。

2日間・6試合で同じパフォーマンスが発揮できる体力がまだないのかなと感じました。

初日のパフォーマンスが発揮出来ていたら2日目の結果も変わっていたかも知れません。それぐらい初日は本当に素晴らしいかったです。

○キックイン・コーナーキック

強いチームはデザインされたプレーで得点に繋げています。

キックインやコーナーキックは相手に邪魔されないので蹴れるので大切にしていきたいですね。デザインはこれから考えて取り組んでいきましょう。

### ○プレースピードをあげる

ゴール前でフリーで受けてもトラップすることで相手DFやGKに寄せられてシュートが打てなかった場面が多々ありました。ダイレクトで打つことで相手が反応で出来なくなるので、状況をみてトラップするか、ダイレクトで打つかを判断していくって欲しいと思います。

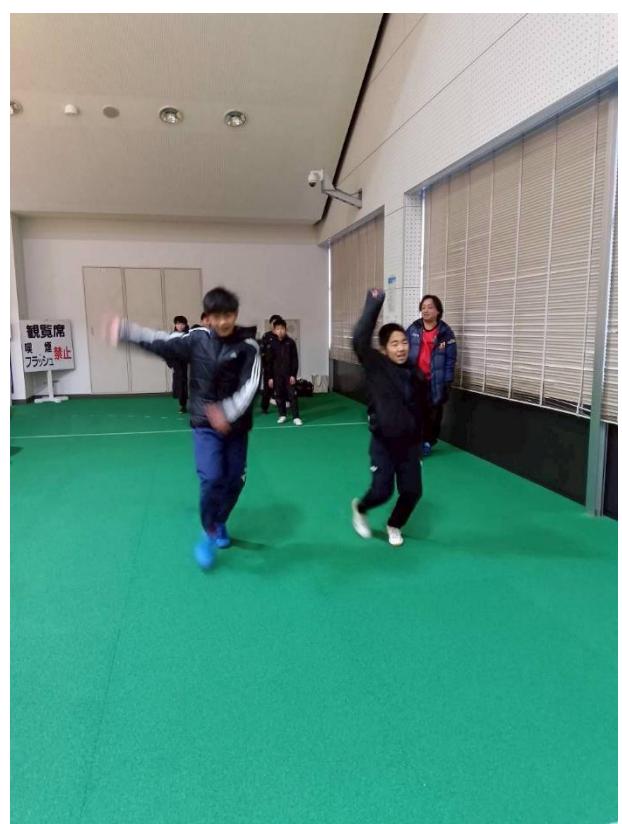
また攻撃の組立の部分でもトラップしてから次のプレーというのうが多かったです。ボールを早く動かすこと、ダイレクトプレーを取り入れることでDFが対応出来ずにズレが生まれてきます。そうした優位な状況を作れると得点しやすくなってくるので、スピードを上げていくことを意識して欲しいと思います。

### 出来事

2日目は尚志高校の準決勝があり、みんな自分の試合よりそっちが気になって仕方ないようでした。こうした選手達が高校サッカーで活躍してくれたら指導者としては嬉しい限りだなと思いました。

最終戦前のミーティングで先発する5・4年生に対して6年生一人一人からアドバイスを送ってもらいました。6年生のアドバイスが私が普段伝えていることを言ってくれていったので浸透してきているなあと嬉しくなりました。

それを5年生は少しふざけて聞いていましたが（笑）



写真が当該審判であったため写真が撮れず、少なくてすみません・・・

